



京都市地域企業未来力会議 News Letter

令和2年
15号

10月30日（金）京都経済センターにて、今年度第二回目の未来力会議を開催しました。今回は約1年ぶりに対面での開催。10組のビジネスアイデア発表と意見交換のほか、大勉強会と題しウィズコロナ社会における地域企業の共通課題について学びを深め“未来の経営”に向けて話し合いました。



顧問からの挨拶



京都府中小企業団体中央会 会長

阪口 雄次

コロナ禍のなか、地域企業の皆様は果敢に挑戦されているかと思います。心強い限りです。WITHコロナによる影響が広がってきていますが、新しい生活様式をふまえ、新たな試みがこの地域企業未来力会議から生まれていくことを期待しています。

第1部: 地域企業からビジネスやアイデアを共有する時間

進行: 風間美穂 (一般社団法人リリース)

第1部は令和2年度のアイデア発表として10組のアイデアが発表されました。背景にある問題意識や目標の決意に加え、欲しいアイデアや協力についての投げかけがありました。



01 コロナ禍における若者の孤立を救うタスクフォース事業

～京都をオモシロくする、名もなき1000人の若者たち～ | 株式会社革靴をはいた猫



”あらゆる若者が地域や社会のために活動する”ことを願い、タスクフォース（プロジェクト）の第一号として靴磨きを創業、今年で4期目になった。コロナ禍で孤立した若者が、共に伝統産業、地域企業の活性化、食と健康などの社会課題や地域課題の解決に向かう「タスクフォース活動」を通じて、同じ目的に向かう「仲間」をつくり、社会との接点を獲得することを目指していく。

02 Spot Lights ～アートのちからで、すべての人が輝く社会を～ | 華～puspa～



ダンス教室経営を中心とした、アート・エンターテインメント事業。アートを一部のひとにとどめず、暮らしと密接に近づけて、全ての人を輝かせていく。まずは親子に着目したワークショップ事業を企画。活動や実施の場所を一緒に企画できる教育事業者などの協力をいただきたい。

03 人生の節目に自分を見つめ直す「じぶんをのしる手帳」の試作開発プロジェクト

｜一般社団法人こころ館



人生の節目で自分を見つめ直す機会を提供する「じぶんをのしる手帳(仮)」を開発するプロジェクト。コロナ禍によって若者の孤立化が進む現在、アイデンティティを確立するうえで重要な他者との交流の機会が減少している。まじめでいい子だが自分を表現することが苦手な新入社員、若手社員を想定し、手帳を使った新入社員研修を企画を構想。新入社員の力を発揮させたい企業の協力をいただきたい。

04 家にいたい人のハローワーク(仮) ｜シンク・アンド・アクト株式会社



引きこもりの方だけでなく、介護や育児など家にいたい人(在宅希望者)が、家にいながら仕事や社会参加ができるように、また、労働と対価の交換としての仕事ではなく、成功体験や自己肯定感を得る機会となる仕事を提供する事業。今後、利用者の獲得を目指し活動を行う。まずはどんなニーズがあるか、切り出し可能な業務があるか等、ニーズ調査を行っていくので協力をいただきたい。

05 バーチャル体験+リアル体感

「V+R KYOTO museum」 ｜株式会社 OpEL.



科学館・博物館などの展示施設、工場見学・企業見学などの催しをオンラインで職業体験するためのシステムを構築し、子供たちの気づきや原体験を提供する教育事業。臨場感や一体感を感じられるよう、オンラインで参加した後、同じ内容のワークショップを実施するなど、五感を刺激する工夫を行う。伝統工芸、食品、印刷など、様々な業種の企業と繋がっていききたい。

06 食の制限(フードダイバーシティ)がある方が訪れやすい・住みやすい街にするためのマップづくり ｜合同会社プラントエイト



京都ではまだまだベジタリアン対応の店舗、商品等が見える化されていないこの現状を解決するためマップを作成し、国内外の方により多くのお店を知って頂くことで、コロナ禍で低迷していた消費を促し、京都の新たな魅力発信にもつなげていく試み。復活後のインバウンド旅行者や、国内のベジタリアンのニーズが見える化する取組で地域企業と協業していききたい。

07 「料亭ごはんを食卓の一皿に」プロジェクト!(仮称) | One Rice One Soup 株式会社



京都の老舗料亭と食卓を「おいしいごはん」で繋ぐ、新しい食の循環を生み出すプロジェクト。京都の老舗料理人と共に料亭の逸品を販売し、1000年先の食卓のために、遺すべき食文化と豊かな食卓を育て繋ぐ「新しい京の食の循環」を生み出していく。食や伝統工芸にまつわる事業者の方々と協業していきたい。

08 ビール粕を使用した糠床を開発し、サブスクリプションサービスを始めたい | 株式会社翠灯舎



ビール醸造所で産業廃棄物として廃棄されているビール粕(麦汁をとった後の麦芽粕)を使用した糠床を開発し、一般顧客に向けて、様々な種類の麦芽を使用した糠床を提供。清水焼の糠床ポットの種類も複数準備し、好みのデザインに合わせて選べる糠床のサブスクリプション事業を企画。協業先や販路拡大について、協力をいただきたい。

09 With コロナ・アフターコロナと環境保全をリードするこれからの建築 | 株式会社片山工務店



自然素材で包まれた衛生空間と緑化建築の普及の試み。新型コロナウイルス感染症を契機として空間そのものの空気環境が安全であるかどうかを管理するため、二酸化炭素濃度、密閉度を管理し空気を見守るシステムを開発。ウィズコロナの中、身体に優しい安心安全な建築環境の提供を、京都発「空気質向上委員会」として取り組んでいく

10 LOGIN〜ワーク&ライフ リノベーション〜 | 株式会社 ROOTS



旧京北町域にて、地方と都市部との循環型経済・持続可能な町づくりを、森林活用の視点から展開する3つの事業を考えている。一つはDIYの視点で京都の森を市民の森林資源として捉え直す実践研修事業。二つ目は京都の林業課題をクリエイティブに解決する国際教育ツーリズム事業。三つ目は国内外のデザイナーやクリエイターとの協業事業。今後多くの地域企業と協業していきたい。今後多くの地域企業と協業していきたい。

第2部:共有されたアイデアについて皆さんと意見交換する時間

第2部は、10組のプレゼンテーションを踏まえ、参加者が興味のあるテーマのテーブルに座り、地域企業として協力したいことや気になったポイント、問題意識などを共有しました。



市長からの挨拶



京都市長 門川 大作

生の人間同士が、いきいきと対面で話し合えることは、やはり良いことだと感じました。顧問の皆様もお忙しいところご参加いただき感謝を申し上げます。地域企業の皆様はコロナ禍のなか、顕在化する社会課題にも向き合いチャレンジされています。あらゆることを過去の延長線上で捉えず、今を大きな変化の機会にしていきたい。今年度の10件のアイデアが膨らみ、業種を超え、出会いや気づき、新たな出発がうまれていくことを期待しています。

【第3部】 はじまっている未来の経営・大勉強会の時間 ~ウィズコロナ社会における地域企業の共通課題を考える~

未来の経営を考える大勉強会では、ゲストスピーカーとして2社にご登壇いただきました。事例発表後、各テーブルでディスカッションが行われ、ウィズコロナ社会における自身の経営上の課題や、これから取り組みたいことを共有し、各参加者からは新たな視点や協力が示されました。



近江屋ロープ株式会社 代表取締役社長 | 野々内 達雄 様

20年前、自社の林業機械部門、伝統的なロープ卸売部門は売上が縮小し未来に希望がもちにくい状況があり、リストラを目前にしていた。しかし現場のベテランの社員から提案のあった「鹿ネット」の販売に着手。苦境を乗り越えた。当社のDNAを生かしたチャレンジであった。社員の可能性を信じること。また上意下達ではなく協働していく会社であることが大切。これからは地域社会に貢献する経営だけが残っていくのではないかと。未来をみるために、過去から現在を振り返ることが必要。またこれまでに培ってきた経営理念や実践原則にいま一度立ち直るべき。





株式会社成岡マネジメントオフィス 代表取締役 | 中小企業診断士 成岡 秀夫 様

今後どうなるかは誰もわからないのではないかと。iPhoneも、商品化は無理と言われていたが、あっという間に広まった。このような変化が突然やってくる。人口減少と少子高齢化も、もう戻らないと捉える視点もあるのではないかと。高度経済成長期にはどれだけ売り上げを伸ばすのかが命題であった。過去の成功体験は邪魔になる。経営環境は変わった。現状を事実と受け止めること、SDGsもふまえ事業を”続けられること”がまず大事。そして我々の事業の存在価値を問う必要がある。「考え方」「やり方」「在り方」を改めてリセットし。もう一度「何をやるのか」「何をやりたいのか」を考え直すこと。仲間とベクトルを合わせる「志」と「やり切る意思」「責任をもつ覚悟」が重要性だ。



お知らせ

●令和2年度「京都市輝く地域企業表彰」募集について

令和2年度「京都市輝く地域企業表彰」対象者の募集中です！

京都市では安心安全への貢献、文化の継承、自然環境の保全等、コロナ禍の状況においても地域に根差して企業活動に取り組まれる事業者を表彰するため、令和2年度「京都市輝く地域企業表彰」の対象表彰者を募集しています。

【応募方法】 応募用紙に必要事項を記載し、添付書類を添えて、Eメール、郵送又は持参にて、
京都市産業観光局地域企業イノベーション推進室まで御応募ください。
(自薦、他薦を問わず御応募可能)

【募集期間】 令和2年11月20日（金）必着
なお、持参の場合は最終日の午後5時半までとします。

対象者や表彰に関する詳細はコチラから↓↓

<https://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000274738.html>

皆様からのご応募お待ちしております！

●11月以降の地域企業応援会について

日にち：11月6日（金）/11月20日（金）/12月4日（金）/12月18日（金）

時間帯：午後0時30分～午後1時30分
午後2時00分～午後3時00分
午後3時30分～午後4時30分
午後5時00分～午後6時00分

場所：TRAFFIC（京都市下京区塩竈363 ウエダ本社北ビル2階）

申込は応援会ホームページよりお願いします。

<https://community-based-companies.kyoto/ouenkai>

●今後の予定

第3回地域企業未来力会議 令和3年3月予定

発行：京都市地域企業未来力会議 事務局（京都市産業観光局 地域企業イノベーション推進室）

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

TEL 075-222-3329 FAX 075-222-3331

URL <https://www.facebook.com/kyotoshichushokigyo/>

MAIL chiikikigyo@city.kyoto.lg.jp